

新型コロナウイルス感染症は、驚異的な感染力を有するデルタ株の出現により爆発的な感染拡大を引き起こした。九州・山口地域においても、第5波により新規感染者数は全ての県で最多となるなど、深刻な医療体制の逼迫に直面した。その後感染者数は急速に減少し、医療提供体制への負荷は軽減されているが、これまでの対策をしっかりと検証し、その知見を集積・共有した上で、危機管理としては第6波を想定し、感染拡大防止に万全を期していかねばならない。

一方、国においては、ワクチン・検査パッケージの活用等により、飲食やイベント、人の移動などこれまで要請してきた日常生活の制限を段階的に緩和する技術実証が行われている。このような取組をしっかりと進めながら、成長センターであるアジアに近いといった九州・山口地域の強みを最大限に活かしつつ、社会経済活動の再活性化に向け、反転攻勢をかけていかなければならない。

ウィズコロナ・ポストコロナに向け、世の中が本格的に動き始めた今こそ、「九州はひとつ」の思いを胸に、一丸となって以下の取組を重点的に推し進め、九州・山口の新たな未来を切り拓いていくことを宣言する。

○オール九州で新型コロナウイルス感染対策を強化！

- ・これまでの対策等の十分な効果検証及び得られた知見の蓄積・共有
- ・不織布マスクの正しい着用やこまめかつ十分な換気など官民一体となった基本的な感染防止策の徹底
- ・検査体制の強化・拡充と積極的疫学調査の徹底による早期封じ込め
- ・感染再拡大を見据えた病床・医療従事者など医療提供体制の確保
- ・若年層におけるワクチン接種の促進、追加接種体制の確保
- ・飲食店等における第三者認証制度の推進

○感染状況に応じた社会経済活動の再活性化！

- ・新型コロナに伴う経済的困窮者に対する生活支援
- ・経済停滞で落ち込んだ雇用の回復・維持
- ・切れ目のない需要喚起、思い切った消費拡大策の推進
- ・ワクチン・検査パッケージの活用などウィズコロナに対応した新たな社会経済活動スタイルの確立

○九州の未来を切り拓く元気づくりの推進！

- ・観光とまちづくりの一体的な推進など新たな観光戦略の展開
(ｽｰﾌﾟｰ施設・世界遺産など地域資源の活用や魅力の再発見、ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ需要回復を見据えた九州・長崎 IR、ツールﾄﾞ・九州など、地域一体となった取組の推進)
- ・地域課題の解決に向けたDXの推進
- ・宇宙、バイオ、水中ロボットなど九州の未来を支える成長産業の創出
- ・日本の災害復興をリードする新たな全国モデルの推進
- ・オール九州によるグリーン社会の実現に向けた取組の推進

令和3年10月22日

九州地域戦略会議

共同議長

広瀬 勝貞

共同議長

倉富 純男